

2017,6,5

担当：竹之内 博史

Λ11、○24（ものづくり工房）

授業形態：講義・演習/実習

休講と補講の連絡

作品とコンセプトボードについて

発泡材でのRP・印象の操作 #07

Basic Product Design



休講と補講の連絡

- ・ 下記の理由により、6月7日（水）の授業を休講とし、6月10日（土）に補講を行います。
 - － 今回の課題は印象操作の導入として重要なトレーニングに相当します。
 - － 付け焼き刃ではなく、各自が何らかの手応えを得ることを目的としています。
 - － 各自が思い描いた印象を的確に造形できていることが前提となります。このためにはスタイロフォームの加工に慣れる時間必要かと思われます。
 - － 僅かな日数の差ですが、よりクオリティの高い作品を完成させてもらおうと思います。
 - － やむを得ず出席できない場合は知人に作品と説明文章を託し、代わりに提出してもらうようにしてください。

課題7 スピード

- ・ 「スピード」をテーマにし、スタイロフォームを用いて造形してください
 - ・ 造形物は単体ではなく、必ず展示を想定した台を用い、そのうえに固定して下さい。
 - ・ 表面は白色のジェツソで整えて、最後に紙やすりなどで美しく仕上げてください。
 - ・ サイズは自由ですが、小さいと印象が薄いため、評価が得られない場合があります。
 - － 例：次のスライドに写真を用意したので参考にしてください。
- ・ 教室の前に並べて講評を行います。
- ・ 提出は6月10日(土)の授業(補講)開始時
- ・ 教室は(013?後日連絡)です
- ・ 大学院棟で展示しましょう

提出物

1. スピード作品（展示台を必ず付けること）
 - － どのような見せ方が最も好ましいのかを検討すること
2. コンセプトボード（下記内容を含むこと）
 - － コンセプト（モチーフ等）写真等
 - － スケッチ
 - － 操作したポイント
 - ・ 遅くするには、、、
 - ・ 早くするには
 - － 規定
 - ・ PDF A4サイズ 縦位置
 - ・ 1ページ程度
 - ・ 6月9日の23:59締切 SFC SFSで提出

ヒント：印象の操作について

- ・ スピードと聞いて、、、
- ・ 高速移動する具体的な人工物を模倣してもスピード感、速く動いている印象は得られないことが多いです。
- ・ 鳥、新幹線、レーシングカー、流星、ロケット、飛行機、様々なものがありますが、そのものの形状を模してもスピード感は感じられません。
- ・ 高速で移動するものが持つ運動に関する諸要素をシンプルに考えてみましょう。

印象について

- ・ 工業製品（特に民生工業製品）の多くが何らかの意図に沿った印象を与えられている
- ・ 例えば「使いやすい、機能的、高価」という印象を与えられた工業製品を想像すると、、、
- ・ 的確な印象操作がなされた工業製品は、どうして目的とした印象を与えることができるのか